ついじまつ COMMUNICATION

Vol. 37

築地松情報誌2021年3月
発行/築地松景観保全対策推進協議会

今回の内容 CONTENTS vol.37

○令和2年度の主な事業概要
・陰手刈り（のうてご）技術研修会の実施
・松苗無料配布
・築地松案内人（ボランティアガイド）
○協議会事務局からお知らせとお願い
○出雲平野における築地松実態調査結果の概要

令和元年度 出雲平野の築地松景観フォトコンテスト

優秀賞「屋根より高い♪♪」
渡部 学氏

令和2年度の主な事業概要①

陰手刈り技術研修会の実施

令和2年11月7日（土）に、斐川町富村地内の集会所及び築地松のあるお宅をお借りして、「陰手刈り技術研修会」を開催しました。

コロナ禍の中ではありましたが、感染拡大防止に努めながらの実施となりました。

当日は、小雨の降るあいにくの天気でしたが、8名の参加者が熱心に陰手刈りについての講習や実技に取り組まれました。（座学には協議会関係者や高所作業車のオペレーターも参加しました。）

今回は市外の方も多数参加され、普段はあまり触れることのない築地松について、興味津々の様子でした。

研修会の前半は座学で、最初に「築地松の歴史と価値について」と題し、しまね樹木医会の佐藤講師により、築地松の独特な形がどのように出来てきたのかについて話がありました。

次に、「築地松の保全方法について」と題し、槙野講師により、陰手刈りの作業手順や、作業にあたって留意しなければならない安全対策について説明がありました。

築地松や陰手刈りについて基本的なことを学んだ後、築地松のあるお宅へ移動し、実習を開始しました。

ヘルメット、墜落制止用器具を装着して、高所作業車のデッキに分乗し、オペレーターの操作で築地松の上部まで上昇し、陰手刈り職人の先久講師の指導により、作業をしました。

陰手刈りに使用する道具は、長い柄のついた専用の鎌で、叩くように枝を刈っていきます。剪定の経験者でも、陰手刈りは普段の作業とは違うため、講師の手さばきを観察したり、質問をしながら、手を動かしていました。

昼食を挟んで3時間作業を続け、築地松の3分の1くらいを刈ったところで実習は終了となりました。

刈った枝葉を片付け、最後に集会所で参加された方の感想を聞き、研修会を終了しました。

参加者の声

- 座学で、築地松の歴史等について知ることができて良かった。
- 普段も造園の仕事をしているが、改めて安全面には気を付けたい。
- 前から築地松に興味があり、陰手刈りもやってみたかったので参加した。
- 長鎌という道具も、その使い方も独特で、角度が違うと全然切れない。講師先生の技を近くで見ることができて勉強になった。
- 美しい築地松が職人の技で保たれていることが良くわかった。自分も築地松を残すための役に立ちたい。

講師の言葉

- 参加者の皆さんは、最初は慣れない作業で悪戦苦闘しておられたが、作業が進むにつれ枝を素早く切れるようになられた。
- 技術は言葉だけではなかなか伝えきれないので、実践経験を積んでいってほしい。
- 刃物を使い、高所での作業なので、安全面には十分注意してほしい。

松苗の無料配付

令和3年2月16日（火）～17日（水）に築地松の補植用として、
希望者43名に合計162本の松苗を無料配付しました。

100年後にも残していきたい築地松

季節風などから家屋を守ってくれるだけでなく、全国的にも貴重な景観を形成している築地松、この出雲の宝を未来まで残すため協議会では松苗を無料で配付しています。

この度、協議会で配付した松苗を補植される池田さんにお話を伺いました。

池田さんのご自宅では、以前は築地松の景観を活かし、イベントが開催されたこともありましたが、残念なことに松くい虫の影響により松枯れが発生し、昨年度、松一本を残し、築地松を伐倒されたそうです。

しかし、再度、自宅を築地松のある家にしたいという思いがあり、以前築地松があったところに松苗を植えられました。

池田さんは、防風林は全国的にもいくつかあると思うが、築地松のように刈り上げられた景観があるのは出雲だけ、できるだけ守っていきたいと築地松に対する思いを語っておられました。

2007年当時の池田さん宅

築地松を補植している池田登さん（斐川町坂田）

（注意）
配布した松苗は、他の松より抵抗性がありますが、松くい虫によって枯れない松ではありません。枯らさないためには、防除対策をしっかりと行う必要があります。

協議会事務局からお知らせとお願い

- 住民協定加入者に異動があった場合（加入者の変更、築地松がなくなった方等）は、速やかに協議会事務局へご連絡ください。
- 新たに協議会に加入したい方（築地松所有者で、地域の皆様と協力して築地松の維持管理、再生に取組むことが可能な方）は事務局までご相談ください。
- 築地松の剪定や防除対策を実施したときは、速やかに助成金の申請をしてください。伐倒の助成金申請は黒松の補植を確約する書面（確約書）の添付が必要です。伐倒の際に松苗を補植し、その写真を添付されている場合は不要です。
- 助成金の申請に添付する領収書は、築地松の剪定又は松くい虫の防除対策にかかった経費とそれ以外の経費がわかるように記入をお願いします。
- 松苗の無料配付については、令和3年度も引き続き実施する予定です。松の補植が必要な方は、配付時期（2月中旬）の前に希望調査（12月）を行いますのでご応募ください。

令和２年度の主な事業概要②

築地松案内人（ボランティアガイド）

瀬崎さん（斐川町三分市）

稲田さん（灘分町）

協議会では、築地松の基礎的な情報や歴史について分かりやすく解説していただくボランティアガイドを瀬崎勝正さんと稲田輝夫さんの２人にお願いしています。

令和２年度は新型コロナウイルスの感染拡大により４月から８月初めまで休止しましたので、県内外の方に築地松の魅力を知っていただくことができず残念でした。今後は感染拡大防止に努めながら実施することとしていますので、皆様のご協力をお願いします。

ボランティアガイドをご希望される際は、協議会事務局までご相談ください。 **電話：0853-21-6176**

出雲平野における築地松実態調査結果の概要

協議会では、令和２年３月から８月に、築地松を所有する戸数、築地松の本数等の把握と築地松景観保全住民協定区域内の住民意識調査を目的に「出雲平野における築地松実態調査」を実施しました。

今回の調査では、築地松を所有する戸数、築地松の本数ともに、前回調査のような急激な減少ではなかったものの、なお減少傾向が続いていることが把握できました。

また、意識調査では、築地松の維持管理経費の上昇や陰手刈り職人の減少、所有者に後継者がいないため維持管理が難しくなっている状況が把握できました。

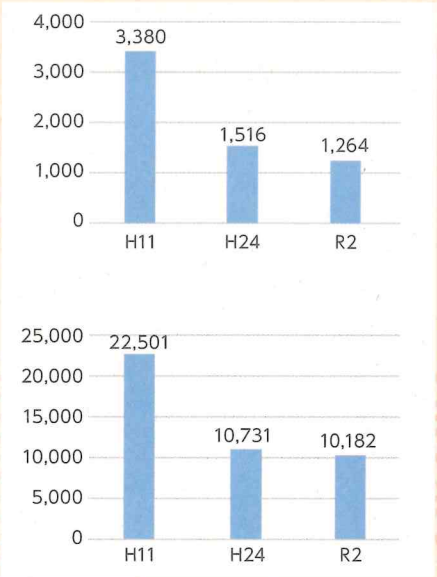
今後は実態調査の結果を踏まえ、築地松の維持管理にかかる助成制度の見直しを検討します。また、引き続き陰手刈り職人の後継者育成、築地松の保全活動等の周知などを行っていきたいと思います。

〈築地松を所有する戸数〉

戸数	H11(前々回)	H24（前回）	R2（今回）	H24年比 増減（戸）	H24年比 増減率（%）
旧出雲市	3,380	282	196	▲86	▲30.5
旧平田市		256	212	▲44	▲17.2
旧大社町		94	51	▲43	▲45.7
旧斐川町		882	804	▲78	▲8.8
旧湖陵町		2	1	▲1	▲50.0
全体	3,380	1,516	1,264	▲252	▲16.6

〈築地松の本数〉

戸数	H11(前々回)	H24（前回）	R2（今回）	H24年比 増減（戸）	H24年比 増減率（%）
旧出雲市	8,102	1,506	1,184	▲322	▲21.4
旧平田市	2,038	1,521	1,496	▲25	▲1.6
旧大社町	4,747	610	549	▲61	▲10.0
旧斐川町	7,614	7,091	6,952	▲139	▲2.0
旧湖陵町	-	3	1	▲2	▲66.7
全体	22,501	10,731	10,182	▲549	▲5.1



築地松景観保全住民協定の認定状況（令和３年２月末現在）

○住民協定数　一般協定　71協定　特定協定　87協定　合計　158協定

○協定加入者　一般協定　1,071人　特定協定　2,239人　合計　3,310人

築地松景観保全対策推進協議会

〒693-8530　出雲市今市町７０番地　出雲市役所建築住宅課　TEL(0853)21-6176 FAX(0853)21-6594